



Rotary International District 2650 Nara Japan
奈良大宮ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin

■創立：昭和54年1月23日 ■例会：毎週火曜日 17:30
 ■事務所：奈良市大宮町6丁目2-1 南都銀行大宮支店内 電話 0742-33-8583
 ■例会場：奈良市高畑町1096番地 奈良ホテル本館 電話 0742-26-3300(代)
 ■会長：富川 悟 ■副会長：小西敏文 幹事：植村将史



奈良きたまち

1473回例会

先週ガバナー訪問無事終了しました。ご協力ありがとうございました。例会終了後のクラブ協議会も中味のある内容でした。

ガバナー補佐を通じてガバナーから大変すばらしいクラブだとお褒めのことばをいただきました。

今年のIMは奈良クラブがホストで11月14日に県公会堂で開催されます。ゲストとして櫻井よしこさんを予定されているそうです。

事務局の山口さんが体調不良で急遽入院されました。1週間程度と聞いておりますが、皆様にはご迷惑おかけするかもしれませんがよろしくお願いします。

親睦委員会

明後日第1回親睦コンペを開催します。ディアパークゴルフ場で集合は9時30分です。

会報・IT委員会

先週多くの方ににこにこご協力いただきましたが、今週の週報にお名前記載漏れがございました。お詫び申し上げます。修正いたしまして来週お渡しします。

新世代委員会

本日例会終了後5分程度委員会を開催いたします。委員の方はご出席よろしく申し上げます。

箱 本日計 13,000円 累計 599,000円

多田 廣 君 30年皆勤の表彰ありがとうございました。だいぶ遅れたようですので規定が変わったのかと思っていました。

楠原 忠夫君 ニコニコ協力

発行日 / 2009年9月1日
 2009-2010/09

Vol.31

No. 1474

HP : <http://naraomiya-rc.jp>
 E-mail : info@naraomiya-rc.jp



育てよう、人。

2009～10年度
 第2650地区のテーマ
「育てよう人」

国際ロータリー第2650地区
 ガバナー 富田謙三



四つのテスト

- 真実かどうか
- みんなに公平か
- 好意と友情を深めるか
- みんなのためになるかどうか

例会プログラム

第9回 9月1日
 通算1474回

1. 開会の点鐘 17時30分
2. ソング
「国歌・奉仕の理想」
3. お客様の紹介
4. ロータリーミニ情報
5. 会務報告
6. クラブ討論会①
「有害サイトについて」
新世代委員会担当
5. 閉会の点鐘 18時30分

例会状況報告

第8回 8月25日
 通算1473回

R.C. は出席から 1473回
 ● 会員数 66名
 ● 出席免除者数 21名
 ● 出席者数 51名
 ● 補填者数 6名
 ● 出席率 98.3%

次週の例会

卓話
 「米価と政治」
 松岡嘉平治 会員

▼次項へつづく



卓話 「金融市場の見通し」 みずほ証券奈良支店 支店長 辻本好春氏

このような会にお招き頂きまして、誠にありがとうございます。

本日は当面のマーケット環境ということで、株式マーケットを中心に話をさせていただきたいと思います。

今年は衆議院議員選挙の年であり、今年の日曜日に選挙が行われます。前回2005年9月11日の郵政民営化が争点になった総選挙で、自民党が大勝をして自公合わせて327名が当選し、小泉内閣による規制緩和が進むとの見方から外国人投資家からの買いが入り、(勿論政治的なことだけが要因ではありませんが)選挙前12,958円であった日経平均株価はこの年の高値16,344円になり、実に4ヶ月間で26%上昇しました。日本の株価は通常米国の株価に概ね連動して動くのですが、選挙後の小泉首相の在任中は米国株を大きくアウトパフォームした動きになりました。今回の選挙結果がどうなるか分かりませんが、もし民主党政権になった場合、現在民主党が発表しているマニフェストから関連するテーマを資料と致しましたのでご参照下さい。まず1枚目の株価・金利・為替の推移表をご覧ください。

3月10日の日経平均終値7,054円98銭から8月14日終値10,597円33銭まで約51%の上昇となりました。バブル崩壊後の主な上昇局面といたしまして、

①93年1月のクリントン政権誕生の92年8月から93年9月までの14ヶ月間で47.79%②4月19日に円ドル相場が79円75銭の円の高値をつけG7の「秩序ある反転合意」を受け、日米独による為替協調介入を行った95年7月から96年6月までの12ヶ月間で56.48%③ネットバブルに沸いた98年10月から2000年4月までの19ヶ月間で61.75%④昨年までのバブル後最安値を記録した03年4月から04年4月までの13ヶ月間で59.89%の上昇を記録しました。

この4回の平均は15ヶ月間で56.48%の上昇となります。今回は6ヶ月間で51%の上昇となっており、4回の平均上昇率を今回の安値に当てはめると11,039円となります。3回目の61.75%の上昇を当てはめると11,411円となります。過去4回の反騰局面での上昇率との比較では日経平均はあと数百円程度の上げも考えられますが、ぼちぼちといったことも考慮しておきたいと思います。

新光総合研究所の8/14集計分の東証一部2010年3月期予想では、売上高がマイナス10.0%、経常利益が50.1%増益、純利益増減率が黒字転換予想となっております。もう一段の上昇には企業業績の更なる上方修正が必要になってくると思います。ただ下値を考えますと、7月のIMF(国際通貨基金)の世界経済見通しが4月段階よりも2010年の見通しは上方修正となっており、各国が行った景気対策がGDPを2%程の押し上げ効果があると考えられています。米国のISM景況指数も1月を底に上昇してきておりますし、米国の住宅市場も一部に改善の動きが現れて景気の回復基調が見られます。米国の景気対策の実施想定として今年度1849億ドルの資金投入に対して来年度は3994億ドルが想定されており、資金投入が本格化するのはいずれ今年後半以降であります。

各国ともに低金利政策を継続させております。金融市場も落ち着きを取り戻しており、通称”恐怖指数”と呼ばれている投資家の心理状態を示すVIX指数も昨年11月には80ポイントしていたものが直近では25ポイント程度に落ち着きを示したりしており、昨年大量に現金化した資金がまだ現金ポジションにあたりしていることなどから買余力はまだあると判断されますので、急激な株価の下落は私個人的には考えておりません。日本の株式相場に多大な影響を与える外国人も4月以降は買い越しになっています。そういった意味で当面はボックス圏での値動きになり、秋以降の景気の変動により相場が動いていくものと思っております。そういう相場環境においては大きなテーマをもった関連企業に注目が集まるだろうと思っております。弊社では今年後半のテーマとして「スマートグリッド関連」「LED関連」、中国が行った景気対策である「以旧換新」等を大きなテーマとして考えております。

まずスマートグリッドの定義ですが、米国エネルギー省の要請で米国電力諮問委員会が作成したレポートによれば「電力の送配電システムを回復力や信頼性、双方向性を備えた、より賢いネットワークに変えること」となっております。9ページの図をご覧くださいとイメージがつかめるかと思っております。

別紙資料の3ページ目の衆議院総選挙におけるマニフェストの主な注目点をご覧くださいませでしょうか。7/27発表の民主党マニフェストと7/31発表の自民党マニフェストを見ますと、大きく対立しているのが消費税に対する見解で、自民党が経済が好転し次第引き上げると宣言しているのに対して民主党は、4年間は増税をしないと宣言しています。ただ中身や程度の違いはありますが、少子高齢化や環境問題に対して何らかの対策を講じていくという方向性は両党共通です。

景気対策としても配慮がされています。少子高齢化や環境問題は長年議論されてきたことでもあり、将来にわたって真剣に取り組むべき課題ですので、いずれの政権が与党になっても重要なポイントとなると思われます。

その重要な政策である環境関連ですが、自民党は温暖化ガスを2020年までに2005年比15%の削減とし、民主党は2020年までに1990年比25%の削減を行い、2005年比では30%の削減を行うというものであります。ちなみにご存知のように現行は1997年に結ばれた京都議定書案で日本は1990年比で2012年までに温室効果ガスを6%削減しなくてはならないのですが、07年時点では逆に9%程度増えている模様で、どちらの削減目標においても目標達成には相当程度の努力が必要となってくるわけです。そのためにも再生エネルギーの普及が必要となってまいります。今後大量の再生可能エネルギーが電力網に接続されて、蓄電した電力を必要な時に必要な電力だけを双方向に流し、無駄なエネルギーを排除していくシステムが必要となってまいります。必要不可欠なこのシステムであります。注目される技術として蓄電池技術・電力制御・情報通信技術があります。注目される企業としましては参考銘柄を掲載しておりますのでご参照下さい。

次にLED関連を注目しています。LEDとは電気を流すと発光する半導体の一種で「発光ダイオード」とも呼ばれているものであります。1993年に青色LEDが実用化され光の3原色が出揃い、フルカラーディスプレイなどの用途が拡大し、1996年の白色LEDの実用化により照明用途での可能性が拡大しております。高輝度製品の開発や低価格により今後の用途拡大が期待されています。液晶テレビの需要増による液晶テレビのバックライトやLED照明として本格拡大が期待されております。シャープの試算ではLED照明は2012年には2兆円超になり、世界の照明市場の約2割まで達すると予想しています。LEDの魅力は省エネ・長寿命であり現在の照明の主流である白熱電球と比較して消費電力は7分の1から9分の1で済み、点灯時間は40倍の約4万時間(1日10時間の使用で約10年)と言われております。今後大量生産により価格が更に下がってくると普及の速度が増してくると思われれます。主なLED関連企業を掲載しておりますのでご参照下さい。

最後に中国の景気刺激策である「家電下乡」と「以旧换新」であります。家電下乡は対象地域を農村部として現在19の省市自治区で実施しており、10品目の家電製品の購入に関して代金の13%を政府が保証するものであり、都市部との格差解消と消費拡大を目的としています。また今年の6月から都市部・沿岸部において家電5品目の買い替えを行う際に10%を政府が補助する以旧换新も実施しており、中国では2015年のデジタル放送開始を睨んで、現在中国の90%超はブラウン管テレビであり、今後液晶テレビの買い替えが促進され、2010年には北米市場を抜いて世界最大の液晶テレビ市場になることが予想されます。世界的に液晶分野で高いシェアを持つ日本の液晶メーカーにビジネスチャンスがあると思われれます。

駆け足で説明させて頂きましたが、個別株式の資料などを必要とされる方は弊社までご連絡頂けると幸いです。貴重なお時間ご清聴頂きまして、ありがとうございました。

皆既日食を見に上海へ (高野 治)

7月22日の皆既日食を見に、娘3人を連れて3泊4日で上海に行ってまいりました。残念ながら皆既日食当日は朝から曇り空でダイヤモンドリングやコロナは見ることができませんでした。

普段の夕方は徐々に暗くなっていきますが、皆既日食の場合は太陽が全て隠れる数分前から急激に暗くなり、あたりは夜になります。また周囲の気温も急激に下がり、そのせいか太陽が隠れる10分ほど前から大粒の雨が降り出し、太陽が出てから5分後くらいに止みました。曇っていたのは残念でしたが、とても神秘的で貴重な体験をしました。

幸い上海はつぶしがきいたので、上海雑伎団のスリリングなショーを見たり、中国語しか通じない店で点心食べたり、地下鉄やタクシーに乗ったりと、面白い体験をして無事に帰国しました。



上海雑伎団のホールにて



お留守番だった5月に生まれた息子